

国語科学習指導案

1 単元名 そうぞうしたことを、音読げきであらわそう

—「お手紙」 光村図書 2年下「赤とんぼ」—

2 単元観

本単元は、「お手紙」を読み、登場人物の気持ちなどを想像し、その想像したことが伝わるように、1年生に向けて音読劇を行う。自分たちができるようになったことを使って、1年生に向けて音読劇を行うことで、目的意識と相手意識を明確にもたせることができる。

本作品は、二人の登場人物の行動を中心に、場所や時間の移り変わりがはっきりと描かれた作品である。そこで、児童には登場人物の行動だけでなく、場面の違いや細かい叙述に着目させ、そこから想像したことをワークシートに書き込み、音読劇の台本を作らせる。台本に書き込む際には、読み取ったことを基に音読させたり、動作化させたりすることで、児童は読みを深めていくことになる。

3 指導方針

- ・毎時間、単元の課題を提示して確認することで、単元で身に付ける資質・能力に沿っためあてを立てられるようにする。
- ・ワークシートを用いて活動を可視化することで、自己の学習の進捗を確認できるようにする。
- ・内容の読み取りの方向性がずれないように、全体で読み取ったことを共有する時間を毎時間設ける。
- ・自己の学習を振り返り、学習内容が身に付いたことを実感させることで、次時への意欲を高める。
- ・質的な高まりを振り返ることができるように、単元で身に付ける資質・能力を、振り返りの視点としてもたせる。
- ・活動のゴールと活動計画に沿って振り返らせることで、見通しをもって活動に取り組めるようにする。

4 研究との関わり

群馬県教育委員会が作成した「はばたく群馬の指導プランⅡ」（令和元年8月）では、主体的に学び、学んだことを次の学習に活用できるように、各単位時間での「めあて」の設定と「振り返り」の場面をつくることの必要性を示している。「めあて」に沿った「振り返り」をする場面を設定することが、様々な学習場面で活用できる資質・能力の育成につながるとともに、その「振り返り」によって自覚した自分の学びに対しての充実感や達成度が次の学びに向かう意欲等を高めるといふ、「振り返り」の有用性が示されている。

本単元においては、この「めあて」と「振り返り」を児童が立てた活動計画と活動のゴールに照らし合わせて行いながら単元の課題を解決していくことで、児童に学習を調整する力の育成を図る。

そこで、「ひとまとまりの活動」を設定する。「ひとまとまりの活動」とは、単元の追究する過程において、複数の単位時間に渡って、児童が試行錯誤を繰り返しながら課題解決に向かう活動である。この活動においては、課題解決された児童の姿を「活動のゴール」とする。児童は、この活動の中で学習の進め方を選択しながら、単位時間ごとに活動計画と活動のゴールに照らし合わせてめあてを立て、活動し、振り返り、その振り返りと活動計画を基にして次のめあてを立てていく。単位時間ごとのめあてを設定する場面で、児童は学習を調整していくことになる。これらの活動を繰り返すことで、児童に自らの学習を調整する力を育成していく。

5 単元の目標

(1) 知識及び技能

身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。

〔(1)オ〕

(2) 思考力、判断力、表現力等

場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

[読むことエ]

(3) 学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

6 単元の評価規準

(1) 知識・技能

身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。

[(1)オ]

(2) 思考・判断・表現

「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。

[読むことエ]

(3) 主体的に学習に取り組む態度

場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、進んで音読しようとしている。

7 指導と評価の計画（全11時間）

過程	時	●ねらい ○学習活動 [☆] ICT活用	◎研究上の手立て ・指導上の留意点 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] 記録に残す評価
つかむ	1	<p>●「お手紙」を読み、内容の大体を捉えることができる。</p> <p>○教師の範読を聞き、内容の大体を捉える。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[単元の学習課題] 1年生に、「お手紙」の音読劇をしよう。</p> </div> <p>○1年生に向けた音読劇をする時の工夫を考える。</p> <p>[予想される児童の反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちがつたわるように速く読んだり、遅く読んだりする。 ・場面の様子が分かるように、声を大きくしたり小さくしたりして、読む。 <p>○本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[振り返りの視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあては達成できたか。 ・なぜ達成できたのか。 ・できなかったのか。 ・単元の課題に沿って学習できたか。 ・計画通りに進んでいるか。 ・次の時間は「何を、どのように、どのくらい（質・量）、どうやって」学習するのか。 </div>	<p>・登場人物や場面などを想起させる。</p> <p>・単元の課題の確認： 単元の課題を提示し、音読劇までの学習の見通しをもたせる。</p> <p>・音読劇をする相手を想起させることで、相手意識をもたせる。</p> <p>・声の大きさや読む速さなどに着目させ、音読の工夫を考えさせる。</p> <p>・[振り返りの視点]に沿って振り返らせ、次時の活動の見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇物語の内容の大体を捉え、学習の見通しをもち、音読活動に意欲をもっている。</p> <p style="text-align: right;">＜発言・記述（態）＞</p> </div>

追究する	2 ・ 3	<p>●一の場面の前半部分の台本を作ることができる。</p> <p>○一の場面の前半部分の大体を読み取る。</p> <p>○音読劇の台本の作り方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【教科書に書き込むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつの出来事か：季節や時間 ・どこで出来事が起こっているか：場所 ・だれが：登場人物 ・どのようにしている（登場人物は） ・どんなものを見ているか ・どんな音を聞いているか ・どんなにおいを嗅いでいるか ・さわってどんな感じがしたか ・どんなことを考えているか ・どんな気持ちか ・（あなたは読んで）どのように感じたか </div> <p>○書き込みを基に、一の場面の前半部分を音読する。【☆】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを、様子や行動を表す語句に着目して読み取る。 ・【教科書に書き込むこと】を提示し、一の場面の前半部分で読み取ったことや想像したことなどを書き込ませる。
	4	<p>◎単元の課題に沿って音読劇の台本を作る活動（ひとまとまりの活動）の計画を立て、友達と共有する活動を通して、学習過程について見通しをもつことができる。</p> <p>○グループを決め、ひとまとまりの活動の活動計画を立てる。</p>	<p>児童がひとまとまりの活動の計画を立てる上で、以下の点に留意して指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の課題の確認：単元で身に付ける力に向かうめあてを立てられるようにする。 ・既習事項の掲示：黒板や教室の壁面に掲示し、活動を選択しやすいようにする。 ・学習モデルの提示：台本作りの過程を確認し、台本作りに必要な活動を想起させ、教科書に書き込む内容を確認する。 ・グループでの交流：自分が立てた計画を説明させる。説明する際には、「何を、どのように、どのくらい（質・量）、どのようにして」が分かるように、説明させる。
	5 ・ 6 ・ 7 ・	<p>◎ひとまとまりの活動</p> <p>「登場人物の行動を具体的に想像して、場面の様子が1年生に伝わるような台本を作る活動」</p> <p>【学習の進め方の例】</p> <p>場面を読み取る、部分を読み取る、書き込む、音読する、自分や友達の音読を聞く</p>	<p>◇場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p> <p>＜記述・活動の様子（思）＞【記】</p>

	8	●様子や行動、気持ちや性格など、叙述を基に想像したことを、身近なことを表す語句を使って、台本に書き込むことができる。	
	9	●場面の様子に着目して、具体的に想像した登場人物の行動などを、台本に書き込み、音読することができる。	
		●単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもとうとしている。	
		○自分が選択した活動を進める。 [☆] ※学習活動例については、「8 第5時～第9時の展開」を参照。	※指導上の留意点については、「8 第5時から第9時の展開」を参照。 ◇身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ＜記述・活動の様子（知）＞ [記] ◇場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ＜記述・活動の様子（思）＞ [記] ◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。 ＜記述（主）＞ [記] ※児童の学習の進め方によって、評価する。
ま と め る	10	●1年生に向けて、音読劇を行うことができる。	
		○自分が具体的に想像した登場人物の行動や場面の様子が1年生に伝わるように音読する。	・グループ毎に、音読劇を行わせる。 （追究する過程での思考・判断・表現の評価につながる見取りをし、支援を行う。）
	11	●音読劇の感想を伝え合い、単元の課題に沿って、身に付けた力を確認して、次に生かしたいことを振り返ることができる。	
		○音読劇の感想を伝え合う。	・グループでの交流： 他のグループの音読を聞き、よいところをグループ内で伝え合う。 ・活動の共有： グループの話し合いで出た、他のグループのよかったところを、学級全体で共有する。 ・単元の課題に沿って、本単元全体を振り返らせる。
		○単元の課題に沿って、身に付けた力を確認して、次に生かしたいことを振り返る。	◇音読劇を通して身に付いた力を確認し、次に生かしたいことを振り返っている。 ＜記述（態）＞

8 第5時から第9時の展開（本時は11時間扱いの5時間目から9時間目）

ひとまとまりの活動

「登場人物の行動を具体的に想像して、場面の様子が1年生に伝わるような音読劇の台本を作る活動」

【学習の進め方の例】

場面を読み取る、部分を読み取る、書き込む、音読する、自分や友達の音読を聞く

(1) ねらい

- ・身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。
- ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
- ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、進んで音読しようとしている。

(1) 準備

ワークシート、タブレットPC

(2) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応 [☆] ICT活用	◎【研究上の手立て】 ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] 記録に残す評価
----	---------------------------------------	--

導入 5分	<p>1 本時のめあてを立てる。〔☆〕</p> <p>○前時の振り返りを基に、本時のめあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none">・今日はがまくんになって、二の場面を読もう。・書き込んだがまくんやかえるくんの気持ちがわかるように、声の大きさを工夫して音読する練習をする。・三の場面のがまくんやかえるくんの気持ちを書き込む。・四の場面で自分が感じた、場面の様子などを書き込み、音読を試みる。・友達の音読を聞いて、五の場面のがまくんやかえるくんの気持ちを書き込む。	<p>◎【学習の進め方の選択】</p> <p>活動のゴールにおける自分の姿をイメージさせながら、活動計画と前時の振り返りを基にしてめあてを立てさせる。</p> <p>○単元の課題の確認：</p> <p>単元で身に付ける力に向かうめあてを立てさせる。</p> <p>●活動の共有</p> <p>プレゼンテーションソフトを用いて、めあてを友達と共有できるようにし、いつでも自分の計画の参考にできるようにする。</p> <p>◇音読劇の台本を完成させるまでの学習過程について、見通しをもって、進んで台本を作ろうとしている。</p> <p style="text-align: right;">＜発言・記述（態）＞</p>
展開 15分	<p>2 自分が選択した活動を進める。〔☆〕</p> <p>○一の場面の後半部分から三の場面の台本を作る。</p>	<p>◎【ひとまとまりの活動】</p> <p>児童が選択した活動を、各自で進めさせる。</p> <p>○音読の練習は記録して、ドライブに保存し、いつでも友達の音読を聞くことができるようにする。</p> <p>○児童が集中して取り組めるように、一つの場面を前半部分と後半部分に分ける。</p> <p>○書き込んだ内容は、音読させたり、動作化させたりして、自分が想像したことと書き込みが合っているかを確かめさせる。</p>

【ひとまとまりの活動】	
学習活動例	○指導上の留意点●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞〔記〕記録に残す評価
①読み取ったことや想像したことを書き込む。	①〔教科書に書き込むこと〕を基に、自分が読み取ったことや、想像したことなどを書き込ませる。
②音読する。	②書き込んだ内容が伝わるように、声の大きさや読む速さなどを工夫して音読させる。
	②タブレットPCを用い、自分の音読を記録させ、確認できるようにする。
	②児童が記録した音読を共有し、いつでも自分の音読を聞いたり、友達の音読を聞いたりして、活動の参考にできるようにする。
③自分の音読を聞く。	③声の大きさや読む速さなどから、書き込んだ内容が伝わるような音読になっているかを確かめ、書き込みを見直させたり、音読を工夫させたりする。
④友達の音読を聞く。	④友達の音読と書き込みから、自分の書き込みや音読の工夫を見直させる。
⑤言葉を調べる。	⑤自分が知りたいことが分かるような方法で、調べさせる。
※①～⑤の活動は、児童が進め方を選択する。	●活動の様子を共有して、児童同士で活動の進み方を見合ったり、全体で進め方や進度を確認できるようにしたりして、各自の活動の参考にさせる。
※①～⑤は順序を表すものではない。	●常に全体との関係を意識させながら、場面や部分の読み取りを行わせる。
※①～⑤の活動は、どの場面やどの部分から行ってもよいこととする。	◇身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。
	＜記述・活動の様子（知）＞〔記〕
	◇場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
	＜記述・活動の様子（思）＞〔記〕
	◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。
	＜記述（態）＞〔記〕
	※児童の学習の進め方に沿って、評価する。

展開 5分	<p>3 活動状況を全体で共有する。</p> <p>○活動状況や読み取ったことを共有し、自分の進め方や、書き込みを見直す。</p>	<p>○グループでの交流： 教科書の書き込みを基に、想像したことを友達に伝えさせる。</p> <p>○活動の共有： 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像した書き込みを、学級全体で共有する。</p>
展開 10分	<p>4 自分が選択した活動を進める。 [☆]</p> <p>○見直した書き込み等を踏まえて、ひとまとまりの活動を進める。</p>	<p>※展開前半と同様。</p> <p>○児童が自らの学びを確認するために、本時の書き込みを写真で撮って保存させる。</p> <p>○児童が保存した書き込みを共有し、いつでも活動の参考にできるようにする。</p>
まとめ 10分	<p>5 本時の学習を振り返る。[☆]</p> <p>○振り返りの視点に沿って、本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日はがまくんになって、二の場面を読んだから、明日はかえるくんになって二の場面を読もう。 ・がまくんの気持ちがわかるように、声の大きくしたり、小さくしたりして読めた。次はかえるくんを読もう。 ・三の場面のがまくんやかえるくんの気持ちを書き込めたので、次は四の場面をやろう。 ・三と四の場面で書き込みができたので、音読をしてみる。 ・友達の音読を聞いて、二の場面のがまくんやかえるくんの気持ちを書き込めたので、次は三の場面を自分でやってみよう。 <p>○振り返りを共有する。</p> <p>○本時の振り返りを基に、活動計画を見直す。</p>	<p>◎【自分の進度を可視化した振り返り】 振り返りの視点に沿って振り返らせ、次時の活動の見通しをもたせる。</p> <p>○活動の共有： 振り返りを共有し、お互いに振り返りの様子が見られるようにする。</p> <p>●活動の共有 友達の振り返りや見直された計画から、自分の活動を見直させる。</p> <p>◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。</p> <p style="text-align: right;">＜ワークシート（主）〔記〕＞</p>